

仙台育英学園 同窓会々報

同窓生の

大きな誇りとして

仙台育英学園同窓会

会長 小坂 信雄



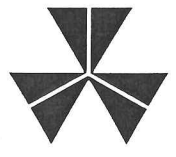
各位には、口頭から同窓会の運営に格別のご協力をいただきお陰様で母校の隆盛と相俟って順調な運営が行なわれておることに深く敬意を表し上げます。

各位には、口頭から同窓会の運営に格別のご協力をいただきお陰様で母校の隆盛と相俟って順調な運営が行なわれておることに深く敬意を表し上げます。母校も、加藤昭学園長先生、加藤雄彦中学・高校校長先生を中心に、教育に卓越した指導力と貴重な経験豊富な先生方が他校には見られないすばらしく充実した施設設備

者に深甚なる敬意を表します。母校の着実な発展は、広く地域社会にも強い信頼を得て、少子時代に突入し高校への入学生の減少に、県立高校など他校は定員削減の事態に至っておりますが、わが母校は毎年志願者が増加しておりありますが、わが母校は毎年志願者が増加しておりありますが、わが母校は毎年志願者が増加しております。

母校も、加藤昭学園長先生、加藤雄彦中学・高校校長先生を中心に、教育に卓越した指導力と貴重な経験豊富な先生方が他校には見られないすばらしく充実した施設設備

発行所 仙台育英学園同窓会
〒983-0045 仙台市宮城野区
宮城野二丁目4-1
TEL 022-256-4141
仙台育英学園
同窓会事務局
仙台印刷所
印刷所
〒983-0045 仙台市宮城野区
宮城野二丁目4-1
TEL 022-256-4141
仙台育英学園
同窓会事務局
仙台印刷所
印刷所



部が、本年めでたく支部創設二十周年を迎えて今年(十一月十四日)記念総会を開催されることになりました。誠に慶賀に存じます。

ここに、これまで二十一年に亘って支部運営に尽力されたい先輩各位に深甚なる感謝の意を表し、今後ますますの発展を祈念いたします。

最後に、母校百周年にふさわしく効果的に行なうため母校教育振興会が中心となって学園、父母教師会、同窓会、父母会、同窓会が一体となって推進しております。



柔道部OB会記念行事

創立者 加藤利吉先生 顕彰碑参拝報告

事務局長 大友 節郎 (昭48卒)

加藤利吉先生は、会津若松市のご出身で白虎隊士の墓に隣接し、しかも真正面に鶴ヶ城が一望できる頂に仙台育英学園のさるる発展を、みやつた眠していらした。

平成九年九月七日小雨模様の日曜日、柔道部OB会役員は、宮城野校舎前門加藤利吉先生の胸像前に集合し利吉先生を中央に記念写真を撮り、一同は会津若松に向けて出発しました。

本校は今年で九十二年の道を歩んでおりますが、一昨年九十周年の年に柔道部OB会は記念行事として創立者加藤利吉先生の顕彰碑参拝計画を立てました。

は如何でしょうか。車(ご家族や友人)で、仙台南IC(郡山J)で、会津若松IC(飯盛山等)、昼食は喜多方ラーメンを食へ日帰りコースで充分なことを書き添えます。

OB会も昨年は柔道部に応援を贈呈、三年間お世話になった我々も、母校や柔道部にささやかでも手助けになれることができればと考えております。

柔道部OB会は毎月第一水曜日(11時)仙台で六時三十分より定例会を開催しておりますので、ご来会されることをお待ちしております。

二十一世紀への希望、 新たな夢の実現

仙台育英学園秀光中学校校長 加藤 雄彦



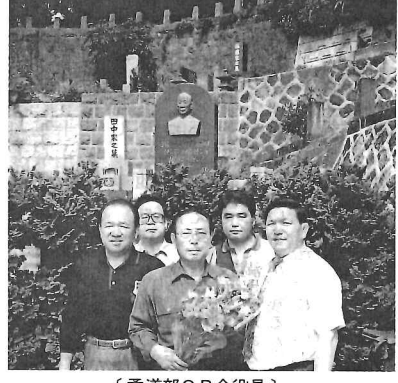
一九九八年、二〇世紀もあと一年半を残すのみとなりました。今年春、仙台育英学園高等学校、

秀光中学校に入学した一年生が卒業する三年後は二十年の春。すでに新しい世紀がスタートしている時となります。このよう大きな時代の変わり目の時、日本の社会に、そして世界に目を向ければ、まさに「変わりの時」を象徴するようさまざまな変化の兆候が見られることに気が

うな状況の中にありながらも、本学園においては、毎年の入学者を堅調に維持しております。これは同窓会のみならず、ご協力のおかげながらの協力があることと感謝しております。

高校へと目を転じれば、今年春の大学合格者の総数は千三百十四名で、地元・東北大学への合格者は昨年より二名から二十四名へと一挙に倍増。昨今の地元国立志向に呼応する「第一回ユロロスクール」(スイス、オーストリア)を巡り、イギリスでホームステイによる語学研修を行う全日程三週間(及び修学旅行)で行われる現地の交流活動のための準備に追われております。学習面でもすでに中学の教科書を経て高校レベルの学習へと進んでおり、知性・感性の両面に秀でた人材を育てるという新しい人材の教育への試みは、予想以上の成果を上げつつあります。

力をお願いしたいことがひとつあります。毎年、本校を卒業する生徒のうちの三百数十名は就職への道を選んでいきます。本校では、進路指導室を設置して生徒たちの希望に応える努力を行ってまいりました。この成果により、これまでは「就職希望者100%」の就職希望の後輩たちのために、みなさんの力を貸していただければというところ、どのような「水戸期」も、仙台育英同窓生五万人のネットワークをもってすれば、生徒たちの夢や希望は実現の方向へとときと向かっていくはずですので、このような困難のときこそ、同じ学園



(柔道部OB会役員)

過ぎ来し日々

高等学校第一回卒業生 國井義弘(昭24卒)



遙か時を重ねること半世紀余、遠い彼方のことと追想の糸も臆気なれど、手繰られるだけその糸をたぐり寄せて見たいと思ふ。

一九四五年(昭和二十年)七月十日は、生涯忘れ得ぬ日である。

第二次世界大戦も終決に近づいている(当時は終決などという事は全く予想もできないことであつたのである)この日、中学校三年生だつた我々に、勤労動員の命が下り、船岡にあつた海軍火薬工廠に赴いた。

喜びの歌 (新校舎に入る)

加藤利吉 作詞 國井義弘 作曲

おう今歸る 學舎に 昭和も過ぐる 二十年 その姿 涙はつきて 聲かれし 昔の夢は 今いづこ おうよろこばし おううれし

(一)

おう今歸る 學舎に 三年餘も 試練は續く 幾たびぞ 茨の道を 拓きつゝ そびえたつ 學舎遂に おうよろこばし おううれし

(二)

おう今歸る 學舎に 宮城野萩や 由緒は深く 學舎近く 心に根ざす おうよろこばし おううれし

(三)

おう今歸る 學舎に 環境めぐむ 朝に學び 夕に鍛え 文化國家 おうよろこばし おううれし

(四)

おう今歸る 學舎に 健児團 心身を いそしみつ 打ち建てん おううれし

喜びの歌

Musical score for '喜びの歌' with lyrics and musical notation.

天候の時は、まだいいのだが若し、急に雨にでも降られるようものなら、授業を中断して薬師堂まで一目散に駆け出て行き、空しくもあつた日々を過ごしたものだ。

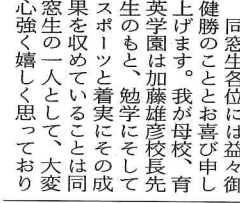
八月下旬、学校に戻つて驚いた、全く何もない焼野原である。唯然として声も出ない。

それが苦難の道の始まりである。戦災を免れた市内の小中学校を借りてのジブシ授業、何ヶ月か、悪さをするので追いつけぬ、別の学校を借りた、数ヶ月すると余所の学校へ、お尻の暖まる間もなく、いよいよ、あちらこちらと、学校を渡り歩いての授業であつた。

育英健児に

栄えあれ

創育会会長 鈴木正志(昭31卒)



同窓生各位には益々御健勝のこととお喜び申し上げます。我が母校、育英学園は加藤雄彦校長先生のもと、勉学にそしてスポーツと着実にその成果を収めていることは同窓生の一人として、大変心強く嬉しく思っております。

還暦祝い同級会に出席して

白鳥多嘉夫(昭32卒)



私の記憶では、卒業後三回目の同級会の様な気がいたします。平成十年五月十日ホテル仙台プラザで開かれ、東京、水戸など遠くからの出席者を含め総勢十四名でした。

事務局長から御礼の二挨拶及び緊急の二報告とお願い

事務局長 宮本昇(昭33卒)

残暑厳しい折、お見舞い申し上げます。同窓の皆様方におかれましてはご健勝にお過ごしと存じます。毎年この時期となりますと、甲子園出場協力金、同窓会発行協力金のお支払いに對して多大なるご協力をお願いしております。

我が学舎に

栄光あれ

菅野 武(昭19卒)



時折母校を訪れること
がある。宮城野校舎の玄
関前に温かく語りかけて
こられるような創立者加
藤利吉先生の胸像が、未
ながい母校の発展をみつ
めていかの如く立って
おられます。また顕彰碑は
建学の精神である。『至
誠一貫』副健一自治進
取』が学園長加藤利吉先
生の筆によるものだと思
っております。この精神が
入学式、卒業式は勿論機
会あるごとに生徒諸君等
が引き継がれているもの
と思ひます。

私が仙台育英中学校
(五年制)を卒業したのは、
第二次世界大戦で日本
軍の劣勢が明らかとな
りつつあった、昭和十九
年三月でした。当時の私
達は情報もなく、ただ盲
目的に勝利を信じて皇国
のためにと、軍関係に進
む仲間が非常に多い時
期でした。しかし昭和二十
年には五年生の卒業と、
四年生のくり上げ卒業が
あったと思ひます。
この様な戦時色、一色
の時期で大変な御苦労と
苦難の連続であったであ
ろう創立者の面影が偲ば
れ、あらためて、その御
功績に対して心から敬意
と感謝を表すものです。
特に仙台大空襲で校舎

躍的に増し今年も地も、
東北大学に二十四名、東
北学院大学に二十名、六十
余名、慶応、早稲田大学
にもそれぞれ二十名程の
合格者を出しその総数は
千三百に近いと聞いてお
ります。そしてその大半
が現役であるというので、
今や県下の進学校と
称される学校に堂々と互
角に組んで頑張っている
現実を見るも生徒諸君
の日の努力は勿論のこと
と、学園長、学校長をは
じめ教職員、先生方の精
進に敬意を表せざるを得
ません。

適性と進路に応じたコ
ーす制が導入されて、個
性を伸ばす細心の配慮と
指導がこのような成果に
なつたものと思ひます。
部活動も新聞紙上で見
られるように、夏の甲子
園大会、都大路での全国
高校駅伝、国立競技場、
花園等々の活躍で「仙台
育英」ありと、全国に知
れわたつております。
また、国際理解教育の
一貫として海外留学、英
国語学研修、ヨーロッパ
知識旅行、カナダ研修旅
行、そして運動部の海外
での親善試合等も数多く
持たれ、これらを通して
国際的な観点からも評価
が得られるように在校生
は勿論のこと、これらを
体験した若い卒業生のグ
ローバルな活躍を期待し
ております。

このように文、武にわ
たり躍進した躍進と全国
屈指の私学の雄として発
展向上する姿を見聞きす
るにつれて、私達同窓生
はうれしく思い、誇りに思
つています。最後に事務局
役員の御苦労に感謝し、
学園の隆々たる発展と会
員の皆様方の御活躍と御
健勝を祈念してペンを置
きます。

東京支部発足
二十周年を迎えて

同窓会東京支部
支部長 佐藤 勝男(昭32卒)



想えば今から二十数年
前在京同窓生数人が集ま
り互いの近況、そして母
校仙台育英高の文武両道
の活躍状況等を中心に会
話がはじまり、話が進む
うち誰からともなく同窓
会をやるよじやないか、
と云う話が持ち上がり、
互いに同窓生の所在をく
ちこみながら調べ、少し
づつではあったが集まり
の輪も広がり話もまじま
じ

硬式野球部OB会
渡辺 勉(昭42卒)

い出されず。
しかし、その間には、
もちろん、良い仲間たち
にもめぐり逢い、ご指導
頂きました。故菅田部長
や渡辺監督をはじめ、私
を応援してくださる先生
方にも思われます。
そのおかげで、卒業後
阪急ブレイブス(現オリッ
クスブルーウェーブ)に
入団する事が出来、プロ
の野球選手として、十
二年間過ごすことができ
ました。
二年連続の日本シリーズ
優勝も経験することがで
きました。
現在は、PGAゴルフ
A級インストラクターと
して、ゴルフを教えるお
仕事です。

硬式野球部員へ

硬式野球部OB会
渡辺 勉(昭42卒)

事一同よろこび合ったの
が大変よかつきと思われ
る。いよいよ東京支部発
足となり第一回支部発足
式を東京は新宿で開催し、
母校仙台より大変お忙し
い加藤昭校長先生(現
理事長)をはじめ同窓会
理事長方そして本部同窓会
会長、在京同窓生多数の
先生方そして本部同窓会
の方々の出席を得て盛大に
行われたのが、ついこの
あいだ、と思つていたら
が、光陰矢のごとしと申
は早いもので、今年二十
周年を迎えることが出来
ましたこと、幹事一同大
変うれしく、これも偏に
加藤理事長先生はじめ、
校長先生、同窓の先生方
そして同窓会本部の方々
の御理解と御協力、御支
援があったればこそと支
部幹事一同感謝いたして
おります。今年が丁度東
京支部発足二十周年とい

りますが、この職業につ
いたきつかけも、やはり
良い友、良い先輩に恵ま
れたからと感謝するばかり
です。
最近では、まだ小学生で
すが、二人の息子たちが
一生懸命、野球をしてい
る姿を見て、野球をして
いた頃の自分を懐しく思
うと共に、子ども達に、
野球を教えられることを
とても嬉しく思つており
ます。
そして、毎年、仙台育
英学園の後輩たちと、甲
子園で会えることを、楽
しみにしております。
(今年の夏も、甲子園に
応援に行くつもりです)
仲間を大切に、悔し
い事、辛い事を全て自分
のパネにできる強さを
持つ選手になれます様
陰ながら応援しております。
頑張ってください。

ねんりんピック

平成九年九月二十一日
岩沼支部副会長
大友 達夫(昭30卒)

第十回全国健康福祉祭
山形大会にソフトボール
の部に参加する機会に恵
まれ(参加資格六十歳以
上)秋晴れのもと一萬数
千名の入場行進は年齢を
考えさせない、まさに感
動と、感激を参加者とい
味いました。
日本人の平均寿命は益々
延び、世界一の長寿国の
道を歩んでいる。
このような中において、
今後わが国が真に成熟し
た社会をつくるためには、
高齢者のみならず全ての
人々が健康で生きがいを

米国の私立校
寄付金集め
きょうえい仙台
社長 下山 三千夫(昭35卒)

二年程前、親類の祝い
事の集りに参加した。事
が終って外に出たとき、
米国ワシントンアンドリ
大学の教授に突然飲酒に
誘われた。その時の話し
の中から気になるものを
紹介します。
一、学校の授業料の半分
に相当する収入は寄付
金である。これは卒業

ち致しております。
同窓会諸君皆様の御
健勝を祈念し支部近況報
告いたします。
昭和三十三年
商業第一回卒業
育英高ボクシング部
創設
佐藤 勝男

歴代世話人
支部長 齊藤右衛門
(調) 福来 實
(調) 佐藤 勝男
副支部長(調) 村上 昇
幹事長 村上 昇
(調) 嶺岸 宣夫
(調) 嶺岸 晃



込む多様性を旨しし父母
が中心となって、オーグ
ションの開催、有名なの
ゴルフ道具等その他様々
な品物を競売する。
(二)教育、米国の学校は
単に学問を教えるだけ
でなく、良識ある社会
人を育てる使命感をも
っている。
老人ホームでの社会奉
仕を授業の一環として継
統的に、ボランティヤ
ミに直直し、社会のゆが
みを自然に育つ機会
を提供している。
三、学生が先生を評価す
る。先生の授業につい
て、教える方を学生が評
価しレポートに絡めて
学校側に提出する。こ
れを参考に先生の教え
方の良し悪しが表に作
成される、学生は常に
質の高い先生を求めて
いる。
四、質の高い教育を提供
するには学校として豊
富な資金が不可欠。授
業料収入だけではおぼ
つかない。あの手、こ
の手で寄付金集めを展
開しているを力説して
いた。
日本の場合、助成金廃
止になったらどうなるの
か、考えたこともない。

